

様式1

平成28年度 学校評価表

学校教育目標		「たのもしい人格の形成」													
a ミッション		学校＝社会＝自立 生徒指導の三機能を生かした学級づくり、授業づくりの在り方の具現化と成果の発信					a ビジョン					経営のキーワード 【一丸】「因島南小の職員としてのアイデンティティ、自律、挑戦」 【愛情】「子どもたちへの愛情（目配り、気配り）があらわれる実践」 【徹底】「徹底から生じる美しさ・落ち着き」			
評価計画						自己評価					学校関係者評価				
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月		h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント		
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ			
確かな学力の向上	学習規律と基礎・基本の学力の定着	○「目指せ！みなみの5つ星」の指導を徹底する。 ○特別支援教育の視点に立った授業づくり、個別の支援を行っていく。	○児童アンケートで「みなみの5つ星」を実行することの出来た児童の割合80%以上、教師評価の平均点3ポイント（4点満点中） ○国語科、算数科の単元末テストで80点以上の児童の割合を80%以上	80% 3点	児童92.3% 教師2.3点 76.7%	児童102% 教師2.4点 81%	92.0%	B	○「目指せ！みなみの5つ星」について、学期ごとにさらに重点を絞って取り組んだ。2学期は「話し方」3学期は「学習用具」でアンケート結果は以下の通りである。 【9月】児童77%、教師2.1点 【10月】児童80%、教師2.3点 【11月】児童81%、教師2.6点 【12月】児童86%、教師2.6点 【1月】児童82%、教師2.5点 ○教師評価が少しずつ向上しているがなかなか目標値には達しないこと、アンケートで肯定的自己評価ができない児童が固定化している。	3			○概ね良い。 ○3年目となる来年も期待できると思う。		
豊かな心の育成	学校や生活のルールを理解し、自分で考えて行動できる児童の育成。	○児童自らが「因島南小学校4つのきまり」を守る意識が持てる取組を学期に2回以上行う。 ○特別活動等と関連付けながら、児童会の自主性を確立し、児童の主眼的、自主的活動を組織する。	○「因島南小学校4つのきまり」の定着度80% ○自己有用感を持つ児童の割合80%	80%	105% 77%	108% 78%	93%	B	○「黙想タイム」の取組では、モデルを見せ、児童とゴールイメージを共有し、明確な目的意識を持たせるよう工夫した。また、授業態度への転化をねらった「チャレンジ！正しい姿勢コンテスト」の取組では、目標値2分中達成値1分37秒という結果であった。取組で培った力は、儀式的な学校行事においても確かな成果としてあらわれた。 ○「無言行動」については、保健体育部と協働して「無言掃除」に取り組んだ。取組の具体としては、職員集団を低・中・高ブロックに分け「無言掃除」の具現化に向けた重点指導項目を一週間のスパンで設定し、丁寧に検証と評価を行い、次のステップへの手立てを考えた。児童は静かに集中して掃除に取り組む態度が身に付きつつある。 ○児童の実践における意欲の高揚、継続化を図るための評価を点検表に記入する等して児童に返していった。日常的な評価は次の活動意欲に繋がった。児童の自主活動の組織に係っては、課題に気付く、問題を発見できる段階には至った。自己有用感、自己肯定感を有する児童の達成値は78%と数値的な大きな上昇は得られなかった。	3			○黙想タイムはすごく良い取り組みだと思う。学校の中だけでなく実生活の中でも生かしてもらいたい。 ○達成感があることが大事だと思った。そのことが次のステップにつながると思う。		
健やかな体の育成	自分の健康・体力について、自分で考えて行動できる児童の育成。	○給食後の「歯みがき」指導を徹底する。 ○体育科の授業の中で、南っ子サーキットの実践を充実させる。 (外：ラダー、平行棒、うんてい、登り棒、立ち幅跳びなど)(中：シャトル投げ、壁倒立、上体起こし、ラダー、反復横跳びなど)	○学期に1週間(5日)強化週間を設け、歯磨き実施4日以上の児童90% ○毎月、体育の授業でのサーキットの実施80%	90% 80%	77% 85.7%	89% 84%	86%	B	○11月に行った歯磨き週間では、4日以上の実施児童は368名中294名となった。1学期の実施と比較すると伸びているが、歯磨きが出来ない児童は、虫歯の治療についても合わせて低い数値になっている。 ○2学期の途中より、体育館用の南っ子サーキットの掲示物を張り出し、視覚的にもわかりやすい掲示をおこない、実施率を上げることが出来た。11・12月にはマラソン大会の取り組みがあり、実施率が77%だったが児童や教職員の意識も高くなってきた。	3			○これでよいと思う。 ○歯磨きの達成値は上がっているが、「歯磨きをする」と「きちんとできた」は、違うと思うので「きちんとできる」児童を増やしていくとよい。		
信頼される学校	保護者・地域とのつながりと信頼を深める。	○学校で起こった「輝いたこと」の積極的な発信。 ・学校便り、学級便り、HPによる情報発信 ○不祥事防止に向けた服務研修の実施。 ・通知文による指導の徹底（毎回） ・服務規律研修の定例化	○学校だより・HP更新月1回 ○服務研修月1回の実施	100% 100%	100% 100%	100% 100%	100%	A	○各学年共に定期的に通信を発行することができた。学校だよりについても毎月発行し、本年度は、校長室だよりを加えて情報発信した。さらなる内容の充実を図っていきたい。HPについては1月の更新は出来ている。今後も学校の様子等を保護者・地域へ発信していきたい。 ○月1回の服務研修を行った。教育委員会からの通知文による指導についても全職員に周知している。今後も計画的に研修を実施していく。	3			○概ね良い。 ○内容も分かりやすく、毎回楽しみにしている。		

【自己評価 評価】

A: $100 \leq$ (目標達成)
C: $60 \leq$ (もう少し) < 80

B: $80 \leq$ (ほぼ達成) < 100
D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。

改善計画

m 改善案

○全児童がそろえてできることを目指し、視覚的にもできているかできていないかが明確にはかれる「学習用具をそろえます」に三学期は重点を絞って取り組んでいく。児童に達成感をもって本年度を終わらせ、来年度につなげていく。

○「黙想タイム」・「「チャレンジ！正しい姿勢コンテスト」の取組は授業前の集中力を高め、学力向上の一助となることは実証できた。今後は、脚の裏を床に付け、正しい姿勢を保って学習する児童の姿を求めて、取組を深化させる。
○「無言掃除」の意義を自己の成長と学校の形成者としての自己の役割の中で捉えさせる。児童とともに「無言掃除」を校風に引き上げる営みを行う。
○課題解決能力の育成には、まずは、実態を見せ、課題を発見させ明確にすることが必要である。次に明確にした課題を分析し、誰がどのようにして取り組み実践していくのかを児童と協議し、それを共有することが重要である。児童との共有化においては、工夫、改善していく。また、今後は、問題を話し合い活動を通して解決する術を全体に浸透させる。

○今後は、3学期の歯磨き週間の取り組みをより一層強化して歯磨き率100%を目指す。また、2月の懇談会で虫歯の治療については再度周知し、未提出及び未治療の児童・保護者に個別に働きかけて、年度末までに受診をしていただけるように粘り強く取り組みを進める。
○運動場用の南っ子サーキットの掲示物を設置し、視覚的な支援を行い、運動に親しむことが出来る場を設定する。

○校長室だより、学校だよりについては、学校の様子を詳しく伝えていくと共に、学級・学年通信でタイムリーな内容を伝えるなど、更なる充実を図っていく。
○HPの更新については、できるだけ新しい情報の発信をしていく。

方策進行管理シート

平成28年度 尾道市立因島南小学校

	目標達成のための方策	活 動	4月	5月	6月	7月	活動達成度	方策達成度	取組評価
			目標数	目標数	目標数	目標数			
			達成数	達成数	達成数	達成数			
確かな学力の向上	○「目指せ！みなみの5つ星」の指導を徹底する。 ・返事は「はいっ。」 ・相手の目を見て話を聞く ・伝わる声で話す(5月) ・学習用具をそろえる(6月) ・こく、丁寧に字を書く(7月) 月毎に重点を決めて取り組む	○児童アンケートで「みなみの5つ星」を実行することの出来た児童の割合80%	/	80	80	80	92.3%	86.3%	B
		○教師評価の平均点3ポイント(4点満点中)	/	72.5	77.1	72			
	○特別支援教育の視点に立った授業づくり、個別の支援を行っていく。 ・学力補充の時間を設定し、学年の課題、個人の課題に適した指導を行う。 「学びタイム」「もくもくタイム」を確実に行う。	○国語科、算数科の単元末テストで80点以上の児童の割合を80%以上	/	/	/	80	90.0%		
		/	/	/	72				
豊かな心の育成	○児童自らが「因島南小学校 4つのきまり」を守る意識が持てる取組を学期に2回以上行う。 ・「朝の100点」 ・「無言行動」 ・「黙想タイム」 ・「はぎものそろえ」の徹底と充実	○「因島南小学校4つのきまり」の定着度80%	/	/	/	80	105%	91%	B
		○自己有用感を持つ児童の割合80%	/	/	/	84			
健やかな体の育成	○給食後の「歯みがき」指導を徹底する。 ・6月、10月、1月に歯磨き習慣を設定し、歯磨きの習慣づけをする。 ○体育科の授業の中で、南っ子サーキットの実践を充実させる。 ・体育の授業で(運動場・体育館)全学年でのサーキットの実施。	○学期に1週間(5日)強化週間を設け、歯磨き実施4日以上の子児童90%	/	/	/	328	77%	81%	B
		○毎月、体育でのサーキットの実施80%	22	/	4	2			
信頼される学校	○学校で起こった「輝いたこと」の積極的な発信 ・学校便り、学級便り、HPによる情報発信	○学校だより・HP更新月1回	1	1	1	1	100.0%	100%	A
			1	1	1	1			
	○不祥事防止に向けた服務研修の実施。 ・通知文による指導の徹底(毎回) ・服務規律研修の定例化	○服務研修月1回の実施	1	1	1	1	100.0%		
			1	1	1	1			

方策進行管理シート

平成28年度 尾道市立因島南小学校

	目標達成のための方策	活 動	9月	10月	11月	12月	1月	活動達成度	方策達成度	取組評価
			目標数	目標数	目標数	目標数	目標数			
			達成数	達成数	達成数	達成数	達成数			
確かな学力の向上	○「目指せ！みなみの5つ星」の指導を徹底する。 ・返事は「はいっ。」 ・相手の目を見て話を聞く ・伝わる声で話す ・学習用具をそろえる ・こく、丁寧に字を書く 月毎に重点を決めて取り組む	○児童アンケートで「みなみの5つ星」を実行することの出来た児童の割合80% ○教師評価の平均点3ポイント(4点満点中)	80	80	80	80	80	102%	92%	B
			77	80	81	86	82			
	3	3	3	3	3	81%				
	2.1	2.3	2.6	2.6	2.5					
○特別支援教育の視点に立った授業づくり、個別の支援を行っていく。 ・学力補充の時間を設定し、学年の課題、個人の課題に適した指導を行う。 「学びタイム」「もくもくタイム」を確実に行う。	○国語科、算数科の単元末テストで80点以上の児童の割合を80%以上	80		80	80	80	92%			
		70		75	69	81				
豊かな心の育成	○児童自らが「因島南小学校 4つのきまり」を守る意識が持てる取組を学期に2回以上行う。 ・「朝の100点」 ・「無言行動」 ・「黙想タイム」 ・「はきものそろえ」 の徹底と充実	○「因島南小学校4つのきまり」の定着度80%					80	108%	93%	B
							86			
	○特別活動等と関連付けながら、児童会の自主性を確立し、児童の主體的、自治的活動を組織する。 ・児童会と連携し、学校生活における問題点に気づかせ、話し合い活動を通して解決させるシステムの構築。 ・児童自らが進んであいさつをする態度の育成とあいさつの質的な向上。	○自己有用感を持つ児童の割合80%					80	78%		
							62			
健やかな体の育成	○給食後の「歯みがき」指導を徹底する。	○学期に2週間(10日)強化週間を設け、歯磨き実施80%以上の児童90%			332			89%	86%	B
					294					
	○体育科の授業の中で、南っ子サーキットの実践を充実させる。	○毎月、体育でのサーキットの実施80%	70	73	74			84%		
55			65	62						
信頼される学校	○学校で起こった「輝いたこと」の積極的な発信 ・学校便り、学級便り、HPによる情報発信	○学校だより・HP更新月1回	1	1	1	1	1	100%	100%	A
			1	1	1	1	1			
	○不祥事防止に向けた服務研修の実施。 ・通知文による指導の徹底(毎回) ・服務規律研修の定例化	○服務研修月1回の実施	1	1	1	1	1	100%		
			1	1	1	1	1			

様式2

方策進行管理シート（参考例）

資料 ⑦

	目標達成のための方策	活 動	平成 年度 尾道市				活動 達成度	学校 方策 達成度	取組 評価
			4月	5月	6月	7月			
			目標数 達成数	目標数 達成数	目標数 達成数	目標数 達成数			

【取組評価】 A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100 C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60